

2017年度事業報告

特定非営利活動法人アサヒキャンプ

I. 事業期間

2017年4月1日～2018年3月31日

II. 事業の成果

2016年度、アサヒキャンプは、65期として8人の新人カウンセラーを得て総勢20人余のキャンプカウンセラーと4人のキャンプディレクターで、4つの主催、1つの共催、3つの協力（派遣）キャンプを実施した。9月に予定していたファミリーキャンプは台風のため11月に順延となった。

年間を通じて会員の子弟を集めたYAMAキャンプを3回実施（延べ参加人数16名）した。運営は、60期勝原氏ドクトルさんがメインで担当し、現役生や59期井上じゃっくさん、今井ざわわさんにサポートしてもらった。クラフトやお菓子作り、川遊びやハイキングなど子どもたちに寄り添うプログラムを行なった。

森の子キャンプはやまね館担当者交代により、例年以上に詳細な打ち合わせを行い順調に終了した。例年にないほどの暑さのため夜に体調を崩し、途中帰宅のキャンパーが1名現れたことは残念であった。

ネイチャキッズキャンプでは、就寝中の局地的豪雨によりテントから退避というハプニングはあったが無事終了した。今年初めてのわんぱくキャンプは、新しい形態ながら成功に終わった。来年度の地元滋賀県からの参加増が見込める。

こちらも全く新しい形態の次世代リーダーズキャンプは、30名予定のところ21名と減少したものの関係者全員の尽力により好評裏に終了した。関東からの参加が多く、賛助会費、寄付を新たに獲得することができた。

のびのびキャンプは例年8月後半のところ、10月前半にシフトし7名のキャンパーで行った。

ファミリーキャンプは順延したため参加者は例年より少なめであったが、「お祭り」をテーマに屋台や餅つきでアサヒキャンプ設立65周年を祝った。

III. 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) アサヒキャンプカウンセラーの養成

(内容) 勉強会、研修（トレーニングキャンプなど）

(実施場所) 大阪府中央区 南星ビル9階会議室、YMCA 研修室

滋賀県高島市 くつきの森自然研修センター

※勉強会は、月に1～2回

(事業の対象者) 所属する学生ボランティア（キャンプカウンセラー）20名

(2) (事業名) 森の子キャンプ「朽木の夏へ！いち、にの、さん！！！」

(内容) 麻生里山センターの7回目の主催に協力。初日は旗作り、バードコール作り、薪割り、飯盒ご飯炊き、カレー作りを体験。初体験の薪割りに苦闘したが、昨年に続きロケットストーブを使用してカレーはまたたくまに完成。自分たちで炊いた飯盒ご飯とともに夕食会でおいしく食べた。その後は恒例のキャンプファイヤーを楽しみ、自然研修センターでテント泊をした。翌日は、自分たちで粉をこね、伸ばし、切るうどん作り。そしてバードコールを持って鳥探しハイク、スイカ割を楽しんだ。天気には恵まれたが気温が高すぎ、十分な配慮を行っているつもりであったが、体調不良によりキャンパー

が1名、夜に途中帰宅したのは残念であった。今年度より、新しく麻生里山センターの職員になった山村氏が石脇氏より引き継いでこのキャンプを担当。5月度より現役生と共に綿密な打ち合わせを重ね、うまく連携ができた。

(実施場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館

(実施日時) 8月5日～6日・1泊2日

(事業の対象者) 小学3年生～6年生 25人

(3) (事業名) SORA サマーキャンプ チャレンジコース

(内 容) 特定非営利活動法人ナック主催に協力。今年はNACのリーダー参加者数が多かったためとアサヒ主催キャンプと日程が重なったため、チャレンジコースにスタッフとして2人の参加であった。自炊、キャンプファイヤー、森の探検、水遊び、星の観察、焼き板作り、流しそうめん組立て、テント立てなどチャレンジコースならではのプログラムを二泊三日で行った。Casが女子16人男子2人と男女の人数の差はあったがプログラムが進む毎にお互いの意見を尊重し役割決めを行い、協力するなどCas同士の繋がりが強くなる様子が見られ、同じ物事を協力して成し遂げる重要性を感じることができた。

(実施場所) 四條畷市立野外活動センター

(実施日時) 8月21日～23日・2泊3日

(事業の対象者) 小学3年生～6年生・18名

(4) (事業名) くつきネイチャーキッズキャンプ「踏み出し感じろ!! 仲間と共に全力疾走!!」

(内 容) ねらいは、「①他者交流を大切にし、思いやりの心を育む ②挑戦することの面白さに気づき、成長へとつなげる ③自然と触れ合う中で記憶に残る体験をする」。テーマソングは「あしたは晴れる」 今年PDがミステリー村にいる冒険家、Co.とCas.が冒険家のたまご でキャンプ終了時には一人前の冒険家になっているという設定。マイクロバスで大阪/京都から来村。キャンプ場でお弁当を食べた後、自分たちの寝るテントを立て、新しく導入したマキ割り器に挑戦し、ホイル焼き、飯盒ご飯作りに。夜は懐中電灯を消してのナイトハイクでユリノキ広場まで行き指令書に従い暗号を解いて、翌日のハイキングの地図をゲット。翌日早朝まさかの大雨によりテントが浸水!急遽全員をロッジのホールに引き上げ、寝具荷物を大急ぎでかわかしてゆっくりと休憩しているうちに天候が回復。OBOGが大汗を流して階段整備をしてくれた南山コースには残念ながら行けずに、コースを変更して食材探しハイキングをおこない、ユリノキで水遊び。夕食のメニューは自分たちで決めたカレーとハヤシライスを作って夕食会。そしてBONファイヤーを楽しんだ後は今年より導入したPETボトルトーチによる火の道に導かれて就寝。最終日は初日より作成してきた白紙のジグソーパズルにグループのみんなからのひとことしてもらっておみやげづくりを。盛りだくさんの充実した楽しいキャンプだった。今年もOBOGの21期ケロリさんが運営している西淀川子どもセンターから小学生を4人招待した。

(実施場所) 滋賀県・くつきの森・自然研修センター

(実施日時) 8月11日～13日・2泊3日

(事業の対象者) 小学3年生～中学2年生・11名(男8人、女3人)

(5) (事業名) くつきわんぱくキャンプ「ぼくと きみと くつきの森で」

(内 容) ねらいは、「①朽木の大自然をのびのびと体いっぱいを感じる ②新しい発見や、自由な発想を仲間と共有できる」 テーマソングは「ウンパッパ」 今年から始めた新しいキャンプ。昨年までのびのびキャンプを行っていた日程をどうするか? を現役カウンセラーに投げかけて実現した。低年齢層対象が要望としてあったため、参加者の体力、カウンセラーの力量、参加費等を考慮して、1泊2日、小1～小3対象、現地集合・解散とした。募集方法は、「しがこども体験学校」への掲載(団体登録および事業計画書提出)と会員への広報に限った。最終的には滋賀県のみで7名が集まった。わんぱくミッションという具体的な目標を掲げて、短い日程の中でも達成感を得られるような形を取り、多彩なプログラムを配置しつつ、疲れすぎないように配慮した。昼ごはんを済ませてやまね館に集合し、保護者と別れてロッジへ移動。川遊び、サイトマップ作り、そして初めての自炊。出来ることに個人差はあるが自分たちで作ったカレーは最高においしい。キャンプファイヤーを楽しんで、テント泊。朝ご飯のあとは、自分たちで食材を選んでお弁当作り。それをもってハイキング、ユリノキ広場で休憩しつつお弁当を食べ、ロッジに帰って宝箱を作った。子どもたちにとってもカウンセラーにとっても実りのあるキャンプであった。早めのお迎えに来た保護者にはキャンプ中の写真をプロジェクタで見てもらい、こちらも好評であった。低年齢層独特の配慮(おねしょや生活習慣など)も事前に保護者に対する参加票による聞き取りで問題なく行えた。ただ、一泊という期間はやはり短い。

(実施場所) くつきの森・自然研修センター

(実施日時) 8月19日～20日・1泊2日

(事業の対象者) 小学1年生～小学3年生・7名(男5人、女2人)

(6) (事業名) 次世代リーダーズキャンプ

(内 容) 次世代リーダーズキャンプ実行委員会主催に協力。竹岡氏のアサヒキャンブルネッサンスに基づき今年初めて実施した社会人のためのセミナーを中心としたキャンプ。企画・運営・主催は竹岡氏を委員長とする実行委員会が担い、共催;株式会社VALCREATION 協力;アサヒキャンプという体制で行った。30,40歳代の経営者対象で豊かな自然環境の中で次世代リーダーとして活躍していくための必要な学びや、同志との出会いを提供することで、20年後の日本を牽引していくリーダー人材の育成に貢献することを目的とする。また収益金の中からアサヒキャンプに寄付、賛助会費をいただくという社会貢献型のセミナーである。アサヒとしては竹岡氏を中心に事前に綿密な打合せ/準備を行い、我々の得意分野を生かしたホスピタリティ溢れる現地での運営を目指し、概ね満足いく結果が得られたと考える。OBOGを中心に、現役カウンセラーも加わり、夕食会(近江牛BBQ)、カウンスルフアイヤー、早朝ミニハイク、朝のつどい、テーブルマスタでの活動紹介、地元特産食材を使った食事、等を実施し、カウンセラーはスタッフとして日頃のレーニングの成果を十二分に発揮してくれた。特にファイヤーでの活躍は参加者の賞賛を集めた。やまね館スタッフも館長の海老澤氏をはじめ好意的に協力をしていただいた。

(実施場所) 滋賀県・くつきの森・やまね館

(実施日時) 9月9日～10日・1泊2日

(事業の対象者) 社会人・21名

(7) (事業名) 自閉症児キャンプ(のびのびキャンプ)「みんなちがって、みんないいー!!」

(内 容) 大阪府青少年活動財団、関西テレビ青少年育成事業団、アサヒキャンプ共催。本キャンプは自閉症児を対象とし、パーソナルカウンセラーがキャンパーをマンツーマンで支援をする。昨年度で一旦終了ということであったが、財団よりの再提案で日程をずらして実施する運びとなった。9月の履行判断時点では参加者4名であったが、履行判断後に7名に増えた。リピーターが2名のみで、小学生が5名、中学生が2名。プログラムでは、年齢、性別をもとに2グループに分けて取り組んだ。初日は自分たちで包んだホイル焼きで夕食をとった後、恒例の花火を。2日目はうどん作りに川遊び、キャンプファイヤーを行った。3日目はゲーム大会とお土産づくり(フォトフレーム)。10月に開催ということで、非常に過ごしやすい気候であった。このキャンプは元々アサヒが始めて、その後の経緯で3社共催となり継続してきたものである。形式も1Cas.に1Co.というものであり、子供に対して密接に支援するという点では他に類をみない。ゆえにお互いの理解や経験、日常ではできなかったのにできるようになったことなどが子どもたちにもカウンセラーにも、そして保護者にも与える影響は非常に大きい。財団サイドが本キャンプを公益事業ととらえており、適切な形での継続が来年度も期待できる。また今年は59期のOG井上裕美(じゃっく)さんがスーパーバイザとして参加してくれ、カウンセラーに対して適切な助言を行ってくれたことも大きな収穫であった。早い時期に来年度の実施に関し、打ち合わせる予定である。

(実施場所) 奈良県・吉野宮滝自然学校

(実施日時) 10月7日～9日・2泊3日

(事業の対象者) 小学4年生～中学3年生・7名(男子5人、女子2人)

(8) (事業名) 障害児・者ファミリー/クラブファミリーキャンプ「染めよう!染まろう!アサヒ色!!」

(内 容) 台風のため9月→11月に順延となり、参加者は例年よりはやや少なく、アサヒキャンプクラブと一般が34人、CD、カウンセラーを含めて57人が集まった。アサヒキャンプ設立65周年のため『お祭り』をテーマに『屋台』や『餅つき』などをして65周年を祝った。『屋台』の出し物は、『魚釣り]:紙で魚の形を型どり、割り箸とクリップを使って針の付いた竿を仕立てたり、『輪投げ]:ペットボトルを立てて輪を入れたり、『亀つり]:水の上にペットボトルのフタを亀の形に仕立てて浮かべてすくったりと手作りの『屋台』を楽しんだ。また『餅つき』では小さな子供たちも一緒に餅をついたり、久しぶりに懐かしい『餅つきの歌』を振り付けを入れながら歌って踊って盛り上がった。紅葉の季節を迎えた朽木で大勢のOBOGと現役生がキャンプを楽しむ事が出来た。

(実施場所) くつきの森・やまね館

(実施日時) 11月3日～4日・1泊2日

(事業の対象者) アサヒキャンプクラブ・34名

(9) (事業名) YAMA キャンプ

(内 容) 今年度で3年目を迎えた。当初の常連が成長と共に来なくなったり、新しいメンバーを迎えたり、また対象参加者がなかったため行わなかったことも2回あった(6月と10月)。参加者からの評判や運営に問題はなく、ワーキャンに参加してくれるOBOGさんの子弟の受け入れという面でも継続していきたいキャ

ンプである。しかし、現役生が担当できないジレンマ（トレキャンを運営しないといけない）やグループリーダーとなる OBOG の人材不足などの問題は抱えているため、再検討を行う必要がある。

（実施場所） くつきの森・自然研修センター

（実施日時） 5月3日～5日・2泊3日、7月15日～17日・2泊3日、11月19日～20日・1泊2日

（事業の対象者） 5歳～中学3年生・延べ16名

（10）（事業名） SORA ウィンターキャンプ A

（内 容） 特定非営利活動法人ナック主催に協力。カウンセラー6名を派遣。サンタの指令書の宝探し、バスでサンタの国へ移動、クリスマスケーキ作り、ゲーム、クラフト作りなどクリスマスならではのプログラムが盛りだくさんだった。Casが女子33人、男子10人と男女差はあったが、1日目から2日目にかけて少しずつ馴染んでいき、2日目午後からはグループ関係なく鬼ごっこやだるまさんがころんだをして遊んでいた。ここから、キャンプ前の目標であった Cas 同士の繋がりを達成出来たのではないかと感じ、充実したキャンプとなった。

（実施場所） 四條畷市立野外活動センター

（実施日時） 12月24日～25日・1泊2日

（事業の対象者） 小学1年生～6年生・44名

（11）（事業名） SORA スプリングキャンプ

（内 容） 特定非営利活動法人ナック主催に協力。カウンセラー2名を派遣。サンドイッチ作り、森の探検、自炊、キャンプファイヤー、バケツゼリー作り、写真立て作りなどを行い、春ならではのプログラムを、1泊2日で行った。今回のキャンプは1グループ10人から14人と少し多かったが、一体感というテーマを達成できるよう、各グループごとに探検や自炊を通してだんだんと協力できるようになった。さらに、探検を通して春ならではの自然を感じる事ができた。

（実施場所） 四條畷市立野外活動センター

（実施日時） 3月28日～29日・1泊2日

（事業の対象者） 小学1年生～6年生・73名

（12）（事業名） 65周年記念親睦会

（内 容） アサヒキャンプ65周年を記念した親睦会を実施した。参加した OBOG はカウンセラー時代に思いを馳せ、後輩につながるアサヒキャンプ創造と協同の精神を感じることができた。

（実施場所） フェスティバル&ビアホール

（実施日時） 11月日

（事業の対象者） アサヒキャンプクラブ OBOG ・106名

IV. 社員総会の開催状況

（日 時） 2017年5月21日 13時～14時

（場 所） 大阪市北区中之島1丁目 朝日新聞大阪本社屋内「ラルゴ」

（会員総数） 85名

(出席者数) 61名 (うち委任状出席者 37名)

- (内 容) 第1号議案 2016年度事業報告・決算報告について
第2号議案 2017年度理事・監事の選任について
第3号議案 諦観変更について
第4号議案 議事録署名人の選出について
[報告事項]
・2017年度事業計画・予算について
・アサヒキャンプ65周年親睦会について
・アサヒキャンブルネッサンスについて

V. 理事会その他の役員会の開催状況

○決算理事会

日時：2017年5月21日

場所：大阪市北区 朝日新聞社会議室

出席：12名 (内 委任状2名)

第1号議案 2016年度事業報告・決算報告について

第2号議案 2017年度予算修正について

第3号議案 役員の改選について

第4号議案 総会について

第5号議案 議事録署名人の選出について

○理事会

日時：2017年10月28日

場所：大阪府中央区 南星ビル9階会議室

出席：15名 (内 委任状4名)

第1号議案 2017年度夏季事業報告、収支決算見込み、年間スケジュール (案)

第2号議案 65周年アサヒキャンプクラブ親睦会に関して

第3号議案 議事録署名人の選出について

○理事検討会

日時：2018年1月14日

場所：大阪府中央区 南星ビル9階会議室

出席：11名

検討項目1 2017年度会計状況報告、2018/1/8会費状況

検討項目2 今後のアサヒキャンプ事業計画と課題に関して

検討項目3 アサヒキャンブルネッサンスに関して

検討項目4 65周年アサヒキャンプクラブ親睦会報告

○理事検討会

日時：2018年2月3日

場所：大阪府中央区 南星ビル9階会議室

出席：8名

検討項目 組織変更について

○理事検討会

日時：2018年1月14日

場所：大阪府中央区 南星ビル9階会議室

出席：7名

検討項目 組織変更について

○予算理事会

日時：2018年4月1日

場所：大阪府中央区 南星ビル9階会議室

出席：13名（内 委任状5名）

第1号議案 2018年度アサヒキャンプ事業計画について

第2号議案 2018年度予算案について

第3号議案 アサヒキャンプ組織案について

第4号議案 定款変更と認定NPO法人化について

第5号議案 2018年度～2019年度の理事・監事候補者の選任について

第6号議案 その他、議事録署名人について

2017年度 活動計算書

2017年4月1日 から 2018年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	830,000	
賛助会員受取会費	339,000	1,169,000
2. 受取寄付金		
一般寄付金	308,647	
くつき特別募金	37,000	
ワークキャンプ寄付金	41,642	
次世代リーダーズキャンプ寄付金	786,150	1,173,439
3. 受取助成金等	0	0
4. 事業収益		
ワークキャンプ	301,950	
ファミリーキャンプ	279,500	
YAMAキャンプ	46,800	
ネイチャーキッズキャンプ	186,000	
わんぱくキャンプ	56,000	
森の子キャンプ	80,000	
SORAキャンプ	47,900	
イベント参加	12,000	
65周年記念親睦会	619,600	1,629,750
5. その他収益		
受取利息	6	
雑収益	91,000	91,006
経常収益計		4,063,195
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
諸謝金	10,000	
人件費計	10,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	1,158,829	
通信費	19,201	
研修費	18,000	
会議費	3,000	
保険料	47,448	
消耗品費	204,691	
租税公課	200	
支払手数料	20,744	
施設使用料	642,800	
食糧費	1,085,104	
被服費	287,731	
印刷製本費	49,690	
社外連絡費	7,560	
招待補助金	72,000	
その他経費計	3,616,998	
事業費計		3,626,998
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	120,000	
人件費計	120,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	40,402	
通信費	93,099	
会議費	103,500	
消耗品費	4,320	
運賃	1,088	
事務用品費	156,338	
支払手数料	1,700	
諸会費	10,000	
食糧費	3,130	
印刷製本費	30,063	
社外連絡費	2,160	
雑費	1,992	
その他経費計	447,792	
管理費計		567,792
経常費用計		4,194,790
当期正味財産増減額		△ 131,595
前期繰越正味財産額		2,432,351
次期繰越正味財産額		2,300,756

財産目録
2018年3月31日現在

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
ゆうちょ銀行	1,447,545		
UFJ銀行	840,385		
未収入金	41,800		
流動資産合計		2,329,730	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,329,730
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,974		
前受金	3,000		
流動負債合計		28,974	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			28,974
正味財産			2,300,756

貸借対照表
2018年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,287,930		
未収入金	41,800		
流動資産合計		2,329,730	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,329,730
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,974		
前受金	3,000		
流動負債合計		28,974	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			28,974
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,432,351	
当期正味財産増減額		△ 131,595	
正味財産合計			2,300,756
負債及び正味財産合計			2,329,730

経理伝票、帳簿、残高証明など照合し、相違ないことを証明します。

監事 大西 良和

監事 中村 茂高